

FS山行

東大雪山 丸山 (1,691m) 噴泉塔

～世界的に貴重な噴泉塔群を探索して～

【契機】

東大雪の丸山の噴泉塔については、昨年ネットサーフィンで偶然知った。

噴泉塔は、石灰華の一種で長い年月をかけて塔のような形状になったものだそう。

1mを超える塔は世界的にも珍しく、学術的にも貴重なものだそうで、東大雪の丸山の噴泉塔は2.7mもあり日本では最も高い塔だそう。

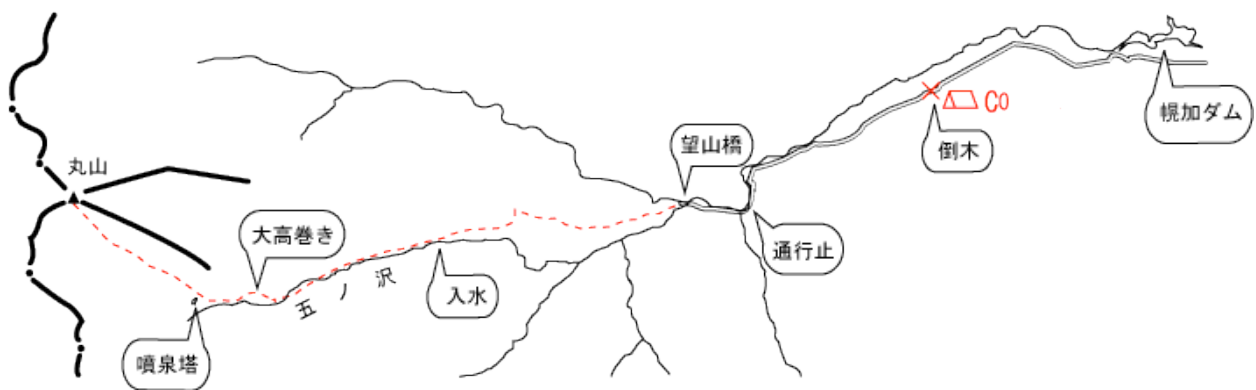
以前、オンネトー湯の滝の露天風呂に入ったことがあるが、その後、マンガンを作り出す世界的にも貴重な微生物が生息していることが判明し、立ち入り禁止になった。

東大雪の丸山の噴泉塔についても、世の中にクローズアップされる前に是非探索してみたいと思っていた場所だった。

2013年9月22日（前泊）～23日

L 山本 M 千葉

【9月22日】	【9月23日】	
15:30 千葉宅発	5:00 起床	10:10 発
19:00 林道（標高 666m）着	6:12 発	12:15 山頂着
	6:48 望山橋休憩	12:45 山頂発
	8:06 コタ 932m 入水	14:17 丸山噴泉塔群
	9:45 丸山噴泉塔群着	15:22 コタ 932m 入水地点
		17:17 車デポ 地（コタ 666m）



9月22日

望山橋で C0 を予定していたが、コタ 666m 地点で倒木が行く手を阻み、その場所で C0 とする。

9月23日

望山橋の10分ほど手前で通行止となっていた。

望山橋を渡って、左岸に林道が走っている。林道沿いに行くと、一旦林道はコタ800mの枝沢沿いに進み、コタ990mのコルを越えて五の沢に戻り、コタ932m地点まで続く。



その後も、渡渉を繰り返す。

沢は、いたって

平凡な様相だが、噴泉塔群手前の地図上のガレ印のところは、ゴルジュが行く手を阻んでいる。

ここは、左岸に大きな高巻き道があった。

踏み跡は、噴泉塔群まで続いている。



噴泉塔群手前は、沢自体が石灰で覆われていた。



左の尖がった塔が2.7mの世界で最も高い噴泉塔だ。今でも、いたる所で、ぷくぷくとガスが放出されており、それが長い年月をかけて噴泉塔になる。

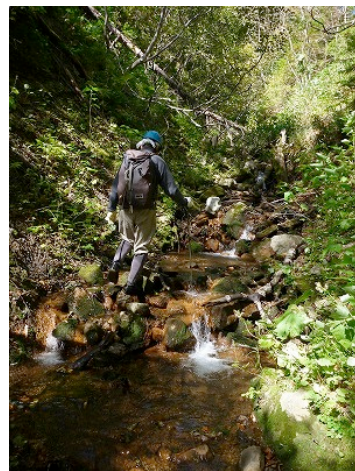
噴泉塔の右の沢を詰める。

沢は、鉄分を含んでいるのか真っ赤で不気味な感じがする。



丸山山頂は平らになっていて背丈まであるハイマツなどで覆われているため、三角点を見つけるのが一苦勞だった。

場所によっては、ニペやウペペを眺望することができた。



(山本 記)